英古日錄

二十

特別
15
1413
22

門 15
號 1413
卷 22

早稲田 大學 圖書
昭和 25 10 24
購入

佛具形ノ次ニ意ノ玉我

佛具形ノ次ニ意ノ玉我

木魚 木魚ハ佛會ナドノ用ニ供スル魚形ノ鈸ニシテ每光鈸ト意義アルコトヲ云フ然レドモ

記錄ニ載スル處未ダ詳ナラズ

不動目守 不動目守ハ不動ノ宵ノ義ニシテ故ニ宵ノ字ヲ用ヒタルモノナラン

說文ニ魚ハ水蟲ノ總名ナリトアリ 魚類 魚類ハ魚ノ象ヲ今人ノ謂フ魚ニ

限ラズ凡ソ水ニ住スルモノヲ皆魚ト稱スルヲ以テ魚類ト云フ

東西 其意ヲ述ブ 類似シ

ウルカ

古碑の図

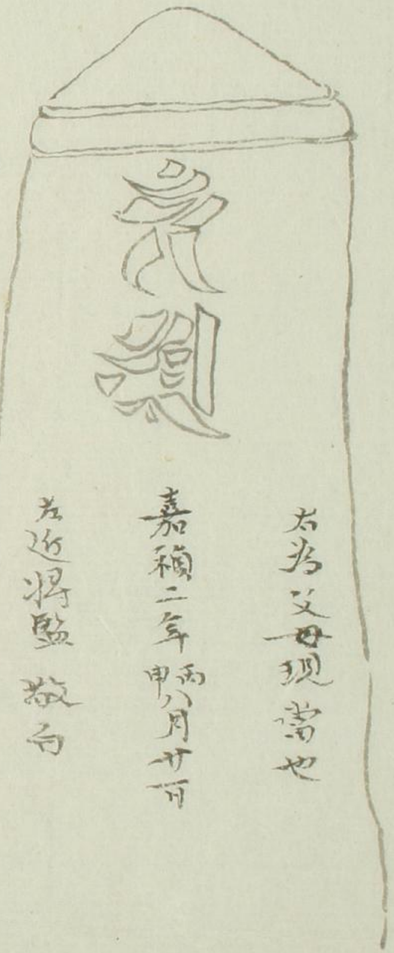
右高四尺、二寸下巾一尺三寸

右高四尺、二寸下巾一尺三寸五分

寛平三年
亥歳

法印祐慶

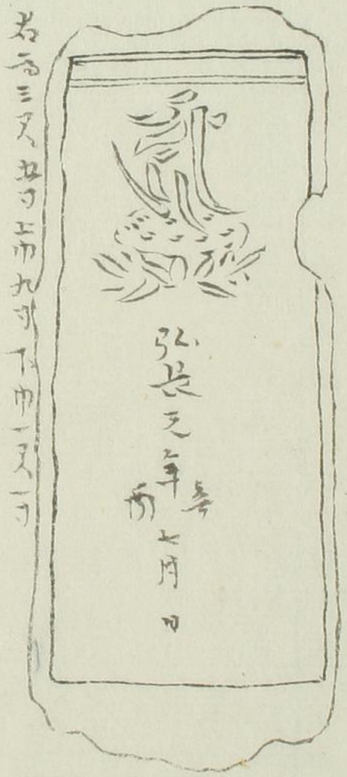
三月二十一日



右為父母現當也

嘉禎二年丙申八月廿日

右近將監敬白



右為三尺五寸五寸五寸二尺五寸

弘長元年辛酉七月日

（梵字カ又ハ文字）

永徳二年

過去

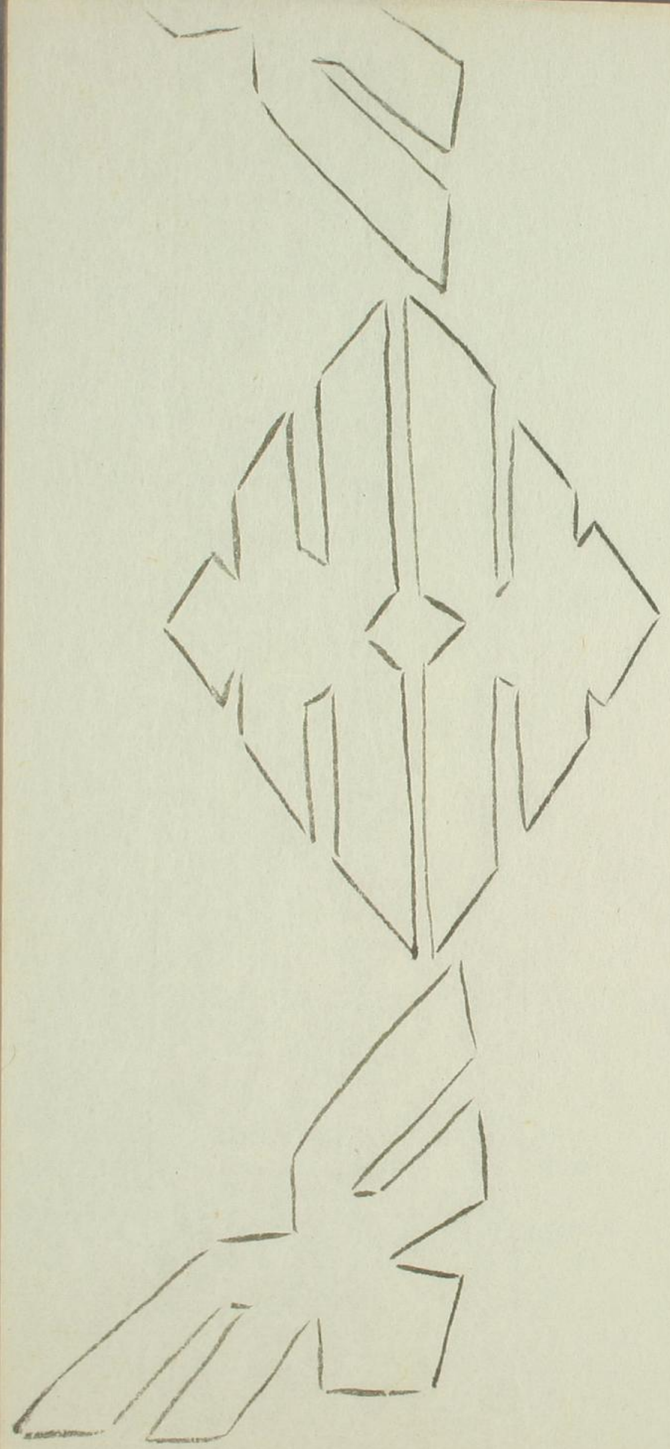
八生喜処ノ塔婆ノ傍ヲリ近郷ノ碑数十ノ摸写其製皆同一顧ニ因テ一ノ碑モ原此ノ如クナルベシ今其二三ヲ録シ以テ参考ニ供ス

九月十九

埼玉縣埼玉郡掘根村

清水雪翁

右ノ碑中寛平ノ年号ノ参考ノ為ニ摸写ヲ請ヒシ所ノ碑ハ仏碑ナリ元ヨリ文字ナシ（寛平二年六月廿五日原本ニ朱書ス）



北堂焉

火事場馳付ル者ハ當ノ印

第大夜公孫樹

火丸ニ左巴

紙表ニモ上山ニハ非ス

又同じく上ぶの書も別に聯あり

大悲梅花為鶴過井葉上生

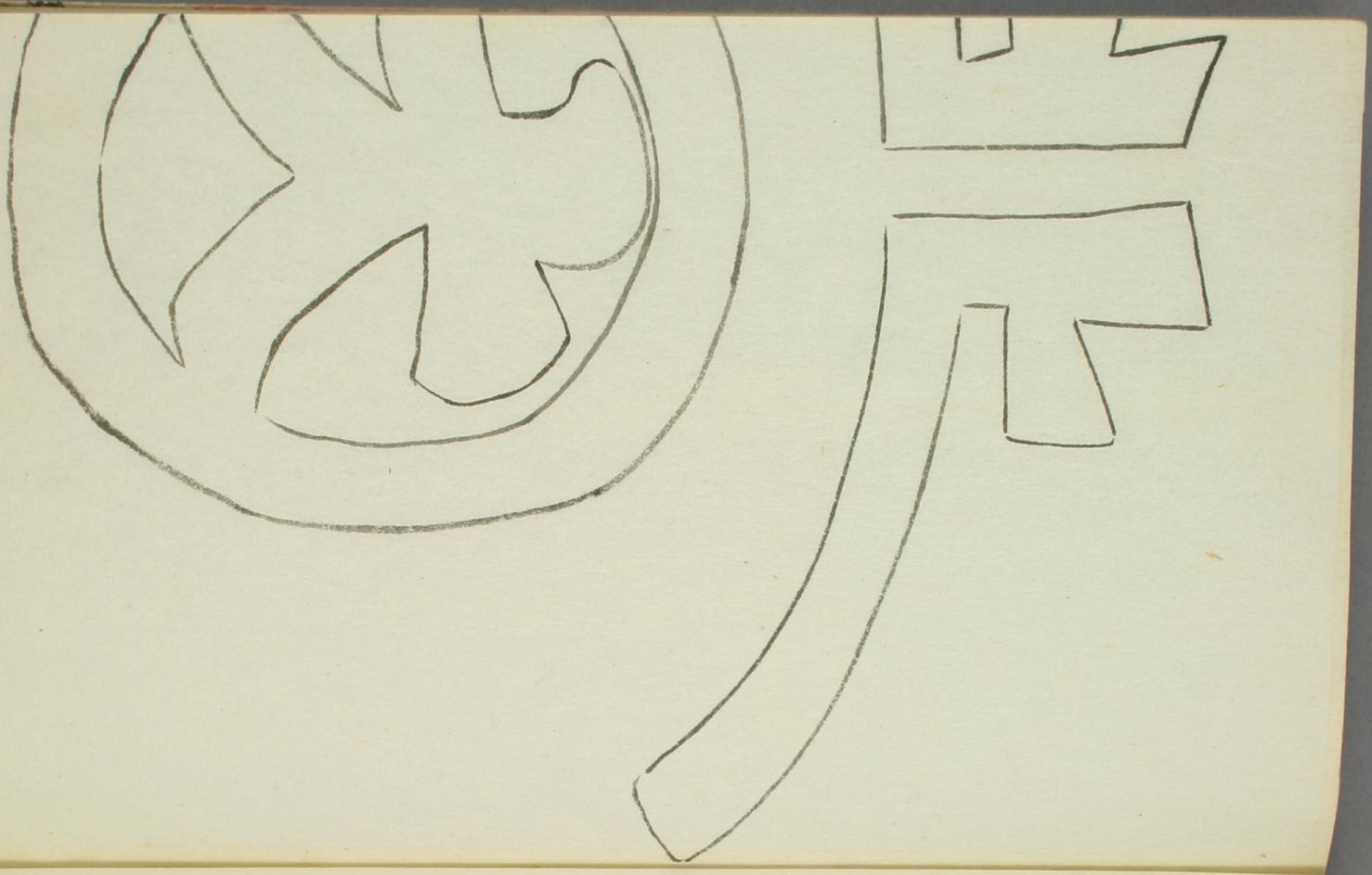
聯刻ハ古く面白く覚ゆ

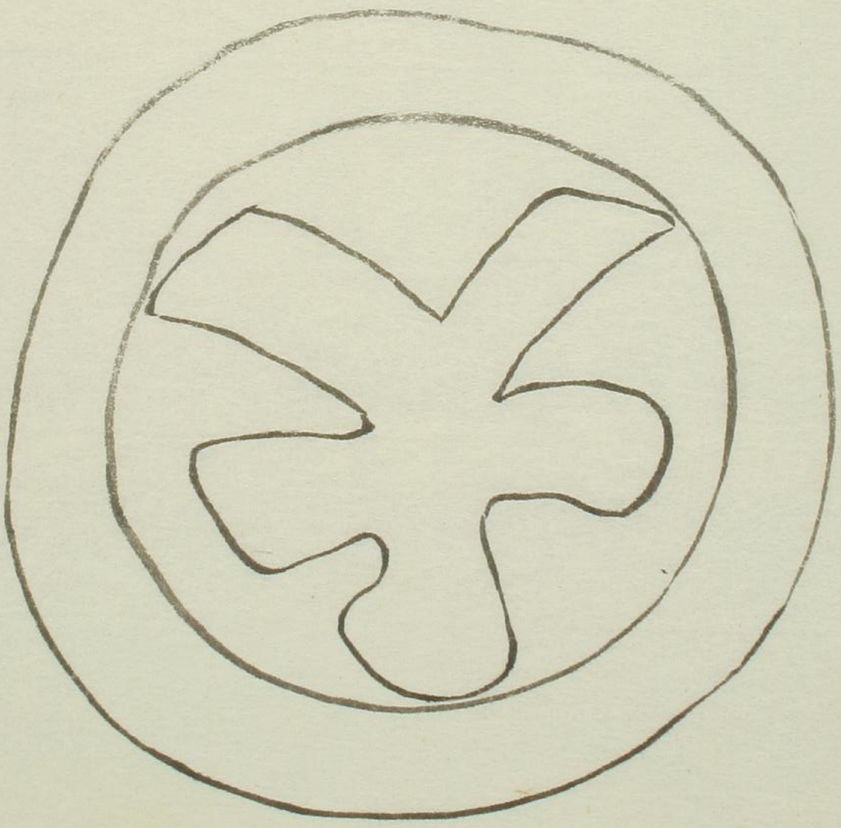
一代教門自非余佛誰有別之可出生死

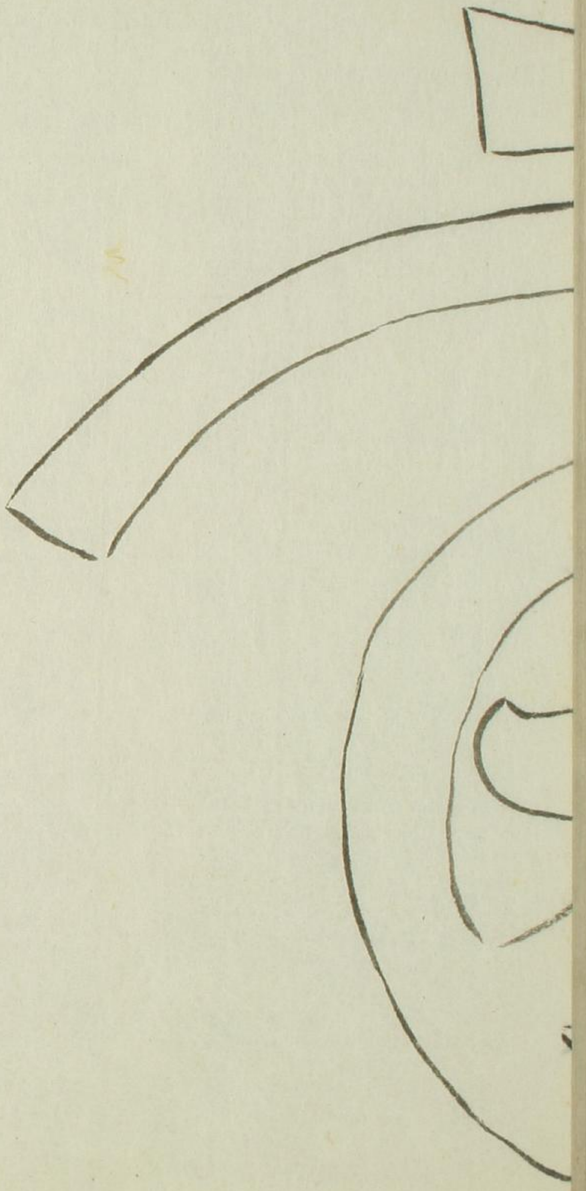
十方淨土惟除無餘土之能攝凡夫

二如沙門慈周撰并書曰

三初ノ我ハ二ツ書ケ二如ノ上ノ人ノ聯







成る天神の御子

支那にも巨人の足跡あり

寛政時現来住
[illegible]神と称せし人が宝暦十年より
[illegible]せし人の筆にて其年前の見[illegible]
[illegible]
[illegible]

東京電車と
雷の川俗の噂

三馬と其親の
短冊

慶長松前屋集の筋書

朝鮮書三の物語中に金あり又表紙印あり

第四集

于時慶長十五年庚戌中春　如意書房

金座商賈二孫松前屋所　小山仁右衛門永次商校之

大正二年七月十五日

朝鮮の行営へ剣先の物語中に金銀の事

元亀二年の改和通寶と商元通寶とて商元は光武の時改和通寶と改めたるものなり

又表紙の印三個あり其文様如左

有馬の天狗
いろいろ古説

有馬郡内の天狗

山中宮司村
菅分豊稔祈
の記

右馬頭[illegible]
[illegible]
[illegible]

戊申六月十日より出京事ども記錄

向山雲莊藏講中

多大本一冊ともなり

西川のお客場

西川のお客場の事

西川のお客場の土塁

出入人先ず金子にて二百文宛

初筆の一朱銀の景名

文の事向ふ一朱ともなし

て二百文と思ふて王ともなし

相場の両替文若干ともなし

陣の両替ともなし

ともなし

一朱の銀

代両にて十二文

泡まで

北海五九二の巻

から九の巻

巻三

北海五九二の巻

巻三にて天

西川中より

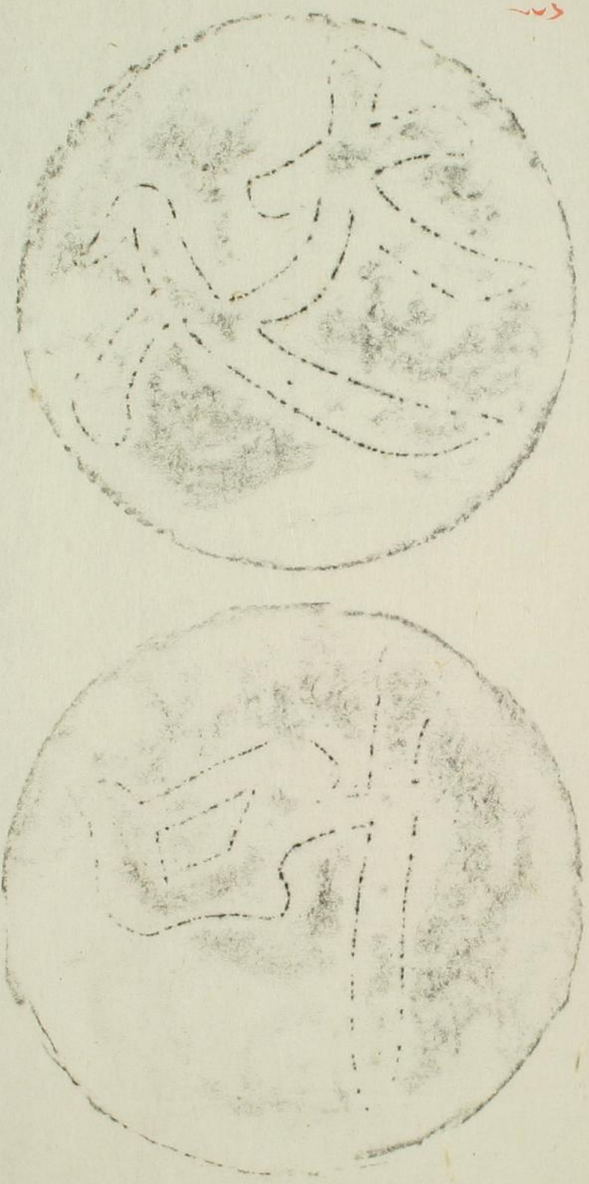
発砲

の人数

の

の

の



古刻書誌
為泉日誌

古刻書誌 前集 巻之一 終

古刻書誌
為泉日誌

古刻書誌 後集 巻之一

泉枕 遐澤集
貞慶二年大歌為経
頌二年阿弥陀経
二年普門品
三年金剛壽命陀羅尼経
二年大日経疏
弘安二年法華経
弘安四年 法宗
同 十年 御法 正宗
正安四年 請来目録
正和二年 處空敬法
正中元年 請人王屋

長元寺子仲通り玉宝山と号す高山弥州金山大和当寺と二年二月当寺の荒す事四度棟札ニ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

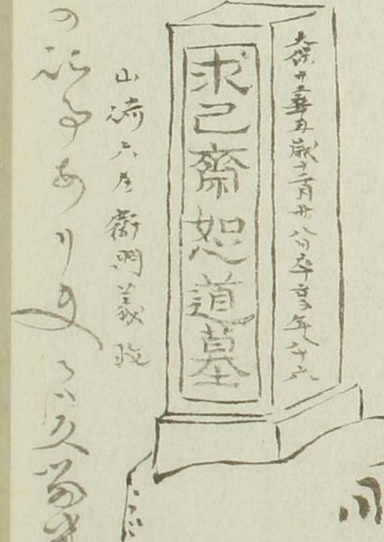
高橋不動の二つの鷹の彫物

施念盃供雑

稲毛迎苗見祝ひ

同市東機神社

お神判


求己齋妙道墓
山崎六左衛門義政

妙法蓮華經卷第五

永仁四年九月二六日申時書寫了

僧 湏有

妙法蓮華經卷第一

永歷元年九月十七日書之

窮生平利益 金剛佛子嚴求大法師

妙法蓮華經卷第七

永歷元年九月廿七日大月本田住侯田

阿弥陀山多宝修行孫湏

元

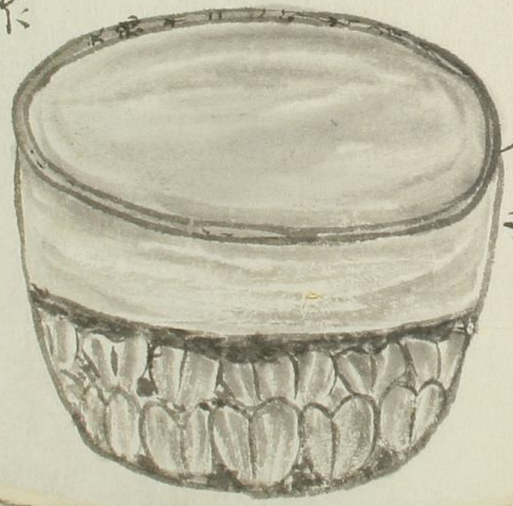
芸草ヨ乾ク

本妙寺 川丸山 [illegible] 現今出銘の縁の上に那智[illegible]

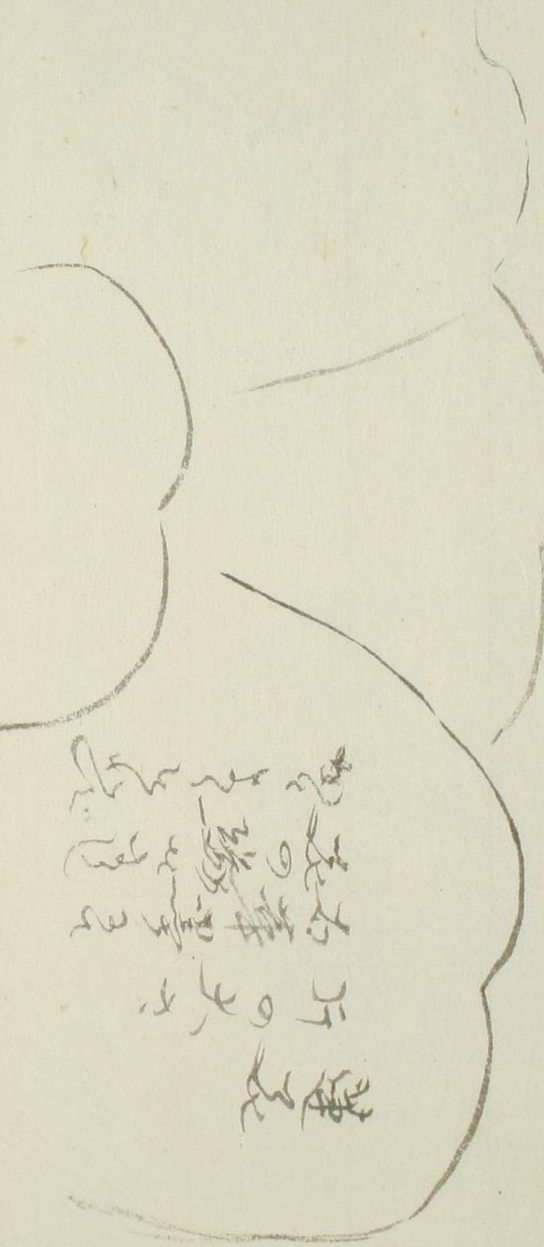
武州豊島郡 徳栄山 本妙寺 地中 泉林房 七代中 正院蓮玉月 [illegible] 常住

元禄十二己卯天歳九月 吉祥日 鋳物師 長谷川源五作

奉寄附銅盤一番 施主 妻田氏當



[illegible] 年々蒔絵仕 書籍棚 [illegible] 年々蒔絵仕 [illegible] 年々蒔絵仕 [illegible] 年々蒔絵仕



右銅鉢鋳造精巧本妙寺什器中の逸品と見受く
寛二年七月廿七日 秋晴風爽理案ず

玉川辺さ八幡
を念とうの
跡もありしと
ふ

武蔵玉川辺なる八幡宮の跡ともて称ふめれど其証
しと言ふべきものさらになし

元禄の改礼あれ

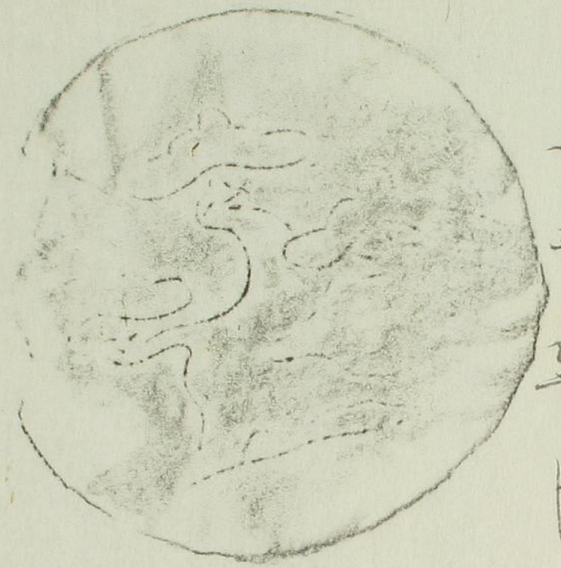
此改礼あれ
摂社の中にも
あり

能因法師の印と
ふものあり

元禄十七年
奉納西国三十三所
江戸大久保
百姓
礼為二世安楽
者也

発行銭屋商

此銭屋商
銭屋源
と元通



月と通信

古今集曲名、序文中の文、三十六歌仙の略号、竹中遠景あり、その孫の二人

共古日錄巻二十 終

日錄巻二十 目

東京府下

45.7.21

駿河
東本宮山
中町